

水痘ワクチン接種についての説明書

水痘ワクチンの予防接種は、法律に基づいて受ける定期接種です。この説明書をよく読んで理解し、十分に医師から説明を受けたうえで予防接種を受けてください。

〔接種対象年齢〕

接種時点で大牟田市の住民である 1 歳以上 3 歳未満の者

＜標準的な接種年齢＞

初回：1 歳～1 歳 3 か月

追加：1 回目を接種して 6 か月～12 か月を経過した後

〔接種スケジュール〕

1 回あたり 0.5 ml を皮下に注射します。

初回接種：1 回

追加接種：初回接種終了後 3 か月以上（標準的には初回接種終了後 6 か月～12 か月）の間隔をおいて 1 回

1 予防する病気

◆水痘

水痘帯状疱疹ウイルスに初めて感染することで起こる病気で、特徴的な発疹が主な症状です。かゆみや発熱を伴います。発疹は斑点状の赤い丘しんから始まり、その後 3～4 日は水疱（水ぶくれ）となり、最後はかさぶたを残して治癒します。

ひとたび水痘に感染すると、一生体の中に潜伏感染し、加齢や免疫抑制状態等で再活性化し、帯状疱疹を発症します。

2 ワクチンの有効性

最近の国内の調査では、1 回のワクチンを接種することで水痘にかかるリスクは 77%減少し、2 回接種で水痘にかかるリスクを 94%減らします。また、ワクチンを接種すれば水痘にかかったとしても症状は軽く済み、合併症の頻度を下げることが知られています。

3 ワクチンの副反応

健康なお子さんに接種した場合は、ほとんど副反応はありません。免疫を抑える薬を服用されている患者さんが水痘ワクチンの接種を受けた場合、接種後 14～30 日に発熱を伴った丘疹、水疱が出現することがあります。

4 予防接種を受ける前に

（１）一般的注意

気にかかることやわからないことがあれば、予防接種をうける前に担当の医師に質問しましょう。予診票は接種をする医師にとって、予防接種の可否を決める大切な情報です。保護者が責任をもって記入し、正しい情報を接種医に伝えてください。

（２）予防接種を受けることができない方

- ア. 明らかに発熱している方（通常は 37.5℃以上の場合）
- イ. 重い急性疾患にかかっている方
- ウ. このワクチンの成分によってアナフィラキシーをおこしたことがある方
- エ. 免疫機能に異常があったり、免疫機能を抑える治療を受けている場合（免疫抑制剤など）
- オ. その他、かかりつけの医師に予防接種を受けないほうがよいといわれた方

（３）予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなければならない方

- ア. 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患のある方
- イ. 過去に予防接種で接種後 2 日以内に発熱、全身性発疹などのアレルギーを疑う症状のみられた方
- ウ. 過去にけいれん（ひきつけ）をおこしたことがある方
- エ. 過去に免疫不全の診断がなされている方もしくは近親者に先天性免疫不全症の者がいる方
- オ. 明らかに免疫機能に異常のある病気を有する方および免疫抑制をきたす治療を受けている方

カ. このワクチンに対してアレルギーをおこすおそれのある方

(4) 接種を受けた後の注意事項

- ア. 接種後30分間は、ショックやアナフィラキシーがおこることがありますので、医師とすぐ連絡が取れるようにしておきましょう。
- イ. 接種後に高熱やけいれんなどの異常が出現した場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
- ウ. 接種後1週間は体調に注意しましょう。また、接種後、接種局所の異常反応や体調の変化を訴える場合は速やかに医師にご相談ください。
- エ. このワクチンの接種後、違う種類のワクチンを接種する場合には、27日間以上の間隔をあける必要があります。
- オ. 接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は問題ありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。
- カ. 接種当日は激しい運動は避けてください。

5 副反応が起こった場合

予防接種後、まれに副反応が起こることがあります。予防接種と同時に、ほかの病気がたまたま重なって現れることもあります。予防接種を受けた後、接種した部位が痛みや熱をもってひどく腫れたり、体調変化が現れた場合は、速やかに接種した医師（医療機関）の診察を受けてください。予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障が出るような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づき、国の審査会にて審議し、予防接種によるものと認定された場合に補償を受けることができます。

＜問合せ＞

大牟田市保健福祉部保健衛生課 電話:0944-41-2669